

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

半九レインボースポーツクラブの取組み

「半九レインボースポーツクラブ(以下、クラブ)」(宮城県宮崎市)では、宮城県で起きた数多くの災害(口蹄疫・鳥インフルエンザ・新燃岳噴火・台風災害など)から得た教訓を活かし、東日本大震災の被災地で不自由な生活を強いられている方々に笑顔になってもらおうと、支援活動を継続的にを行っています。

1 平成24年度における主な活動内容

(1) 被災地での支援活動

第1回(平成24年4月21～22日)

対象：宮城県石巻市/塩釜市/七ヶ浜市のクラブ・福島県三春町の仮設住宅

内容：応援メッセージや日向夏みかんを届け、仮設住宅に鯉のぼりを上げました。

第2回(平成24年6月30～7月1日)

対象：宮城県石巻市のクラブ

内容：スポーツ教室(ウォーキング・サッカー)の協力、七夕イベント、そうめん流しを実施。

第3回(平成24年9月15～16日)

対象：福島県郡山市(会津)のクラブ・福島県三春町の仮設住宅

内容：スポーツ教室(サッカー・フライングディスク)の提供、木工教室、バーベキューイベントを実施。

第4回(平成24年12月15～16日)

対象：福島県三春町の仮設住宅・福島県二本松のクラブ

内容：スポーツ教室(バスケットボール)、バルーンアート、クリスマスレクリエーションイベント、食事会を実施。

第5回(平成25年3月10～11日)

対象：福島県三春町の仮設住宅・宮城県石巻市のクラブ

内容：スポーツ教室(フライングディスク・ウォーキング)、バーベキューイベントを実施。

※開催に携わった運営スタッフ数：延べ20名

(2) 被災地の子どもを宮崎県に招いた交流会

名称：子ども交流会 in 宮崎

期日：平成25年3月26日～28日(2泊3日)

場所：宮崎県内各地

内容：福島の子もたちと宮崎の子もたちとの交流会

日程：1日目 サッカー交流会(県総合運動公園広場)

交流学習会(テーマ：「福島と宮崎について」「災害について」)

宿泊(青島青少年自然の家)

2日目 スポーツなどの体験会（シーカヤック、イチゴ狩りなど）

キャンプ宿泊（蜂之巣公園コテージ）

3日目 サッカー交流会（木の花ドーム） フリータイム（県内レジャー施設）

※開催に携わった運営スタッフ数：30名

宮崎県と福島県の総合型クラブ同士で交流を深めようと呼びかけ実施しました。福島県と宮崎県の子どもたちがスポーツ交流などを通じてみんなで元気になり、お互いに一生の思い出をつくることができました。

（3）講演会の開催

第1回：平成24年5月27日、宮崎市民文化ホール 参加者：約100名

テーマ：「大震災から1年 いま必要なことは（東北からのメッセージ）」

第2回：平成25年3月7日、宮崎市民プラザ 参加者：約100名

テーマ：「みんなの力で復興を！（福島県の現状）」

第3回：平成25年3月8日、高城町総合運動公園体育館 参加者：約80名

テーマ：「みんなの力で復興を！（福島県の現状）」（宮崎県総合型クラブ連絡会議において）

※開催に携わった運営スタッフ数：延べ20名

支援活動を通じて知り合った宮城県・福島県のクラブからクラブ関係者を招き、被災地の現状を伝える講演会を行いました。県内クラブ関係者と市町村行政担当者に対して現地の生の声を届けました。講演会参加者にとっては、震災復興の現実を知る機会となりました。

上記（1）～（3）のようなクラブの活動は、宮崎県が実施する「みやざき感謝プロジェクト」として認められ、平成24年6月から助成金の支援もいただき、またマスコミでも紹介されました。



2 支援活動のポイント

○被災地の状況に合わせた支援活動を！

震災後間もない頃は物資の支援が中心でしたが、被災地の状況に合わせながら、少しずつ活動内容を変えています。現在では、定期的に避難所や仮設住宅を訪れ、軽スポーツやレクリエーションなどのイベント開催を行っています。これは、子どもや高齢者の方が、避難所や仮設住宅の生活で塞ぎ込みがちになっているという状況があったからです。

そのため、被災地での支援活動では、避難所や仮設住宅の外に出ようとしなかった方々が出てみようと思うきっかけづくりになるように活動を行っています。例えば、夏のイベントとして七夕にちなんで大きな笹竹を準備しみんなの願いを短冊にする、宮崎からの応援メッセージや日向夏みかんなどを届ける、軽スポーツのイベントやそうめん流し・バーベキューなどの行事を開催するなどしています。

○支援活動で気を付けること

- ・スポーツ教室やイベントの企画にあたっては、支援受入れ側と十分に協議を行い、支援する側の押しつけにならないようにすること。
- ・被災地における最新情報や状況に合わせ、必要と思われる人や場所に必要と思われる支援を、タイムリーに行うこと。

○被災地の方に特に好評だったこと

- ・ 軽スポーツ、レクリエーション活動の提供。
- ・ 名産品（宮崎県の場合、地鶏・ポンカン・日向夏みかん）の提供。



3 継続した交流・支援の思いを胸に!!

今後、クラブでは「応援の輪がどんどん広がっていくこと」「支援の渦がだんだん大きくなっていくこと」を願い、そのきっかけとなるよう、これまでの活動実績を活かして、小回りのきくクラブだからこそできる草の根運動的な活動を展開しようと考えています。

平成25年6月末には、福島県で被災地支援活動への思いを同じくする関係者が集まり、共同で七夕・夕涼み会（出店や軽スポーツ・レクリエーション活動）を計画しています。また、新しい試みとして被災地の方々に自分たちから足を運んでもらうことを考えているそうです。

仮設住宅などで塞ぎ込みがちな子ども、高齢者にできるだけ沢山参加してもらって、少しでも笑顔（元気）になってもらうこと、更には居住者のコミュニティづくり、復興の地域づくり、まちの活性化への一助となることを目指して、今後も活動を継続していきたいとクラブでは考えています。

（宮崎県クラブアドバイザー 宮田育俊）

※半九レインボースポーツクラブは、震災2日後から支援物資を車に積み込み仙台市に届けるなどの支援活動を行っています。

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/local/sc/pdf/hisaiti_ouen_10.pdf

クラブプロフィール（平成25年6月現在）

設立年月日：平成22年1月30日

地 域：宮崎市清武町 人口約29,000人

運 営：会員数 179名（平成25年6月1日現在） 年間予算規模：約1,300万円（平成25年度）

特 徴：宮崎の恵まれた気候と自然を大いに活かし、健常者から障がい者、子どもから高齢者まで一緒に参加して楽しめるプログラムを実施している

連 絡 先：〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納甲1500-6

TEL：0985-34-9069 FAX：0985-34-9079

E-mail：rainbow_3080@yahoo.co.jp

クラブHP：http://www.geocities.jp/rainbow_3080/